

安全データシート

改訂日: 2025年1月28日

1. 製品及び会社情報

製品名
推奨用途
会社名
住所
電話番号

ユーカリ油
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
HB0002

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類
物理化学的危険性
健康に対する有害性

引火性液体: 区分3
皮膚腐食性・刺激性: 区分2
皮膚感作性: 区分1
誤えん有害性: 区分1

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
引火性液体及び蒸気
皮膚刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

【安全対策】
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を密閉しておくこと。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器】を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
【応急措置】
皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水【またはシャワー】で洗うこと。
火災の場合: 消火するために適切な消火剤を使用すること。
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
無理に吐かせないこと。
【保管】
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別
化学名
化学式又は構造式
化学物質を特定できる一般的な番号
成分及び含有量
官報公示整理番号(化審法、安衛法)
その他

混合物
ユーカリ油(主成分: 1,8-シネオール)
 $C_{10}H_{18}O$
CAS RN: 8000-48-4
該当情報なし。
該当情報なし。

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、頭を低くして横向きに寝かせ、身体保温に努める。

皮膚に付着した場合

応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。
多量の水と石鹼で洗う。
水疱、痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。

目に入った場合

直ちに清浄な水で15分以上洗眼した後、速やかに眼科医の診断を受ける。
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。

飲み込んだ場合

口をすすぎ、コップ1～2杯の水又は牛乳を飲ませて希釈する。

応急措置をする者の保護	無理に吐かせてはいけない。 応急措置を施した後、必要に応じて医師の診断を受ける。 火気に注意する。呼吸器用保護具を使用する。
5. 火災時の措置 適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	二酸化炭素、粉末消火剤、水噴霧、泡沫消火剤 棒状注水 極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。 加熱により容器が爆発するおそれがある。 引火性液体及び蒸気 蒸気は空気と爆発性混合気を形成する。 消火剤を火元へ放射、散布等をして消火する。 消火作業は可能な限り風上から行う。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移動する。 火災発生場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。 消火作業では、状況に応じて適切な保護具を着用する。
特有の消火方法	
消火を行う者の保護	
6. 漏出時の措置 人体に対する注意事項、保護具及び 緊急時措置 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法・機材	作業の際、吸入や皮膚に触れないよう、適切な保護具を着用し、換気を 良くして処理する。 河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。 乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回 収する。 多量の場合には、盛土で囲って流失を防止し、安全な場所に導いてから 適切に処理する。 吸収したものを集めるとき、清潔な帯電防止工具を用いる。 付近にある着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備す る。
二次災害の防止策	
7. 取扱い及び保管上の注意 取扱い 技術的対策 局所排気・全体換気 安全取扱い注意事項 接触回避 衛生対策 保管 適切な保管条件 混触危険物質 容器包装材料	火気厳禁。電気機器類、静電気等のスパークなどによる着火源を生じな いようにする。 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行う。 ばく露防止の為、適切な保護具を着用して作業を行う。 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 取扱い後は十分に手洗いをする。 換気のある乾燥した冷暗所に密栓して保管する。 該当情報なし。 ガラス
8. ばく露防止及び保護措置 管理濃度 許容濃度等 日本産業衛生学会 ACGIH 濃度基準値 設備対策 保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 目の保護具 皮膚及び身体保護具	未設定 未設定 未設定 8時間：未設定 短時間：未設定 取扱いの際は、密閉された装置又は局所排気装置を使用する。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 保護マスクを着用すること。 ゴム手袋を着用すること。 ゴーグルを着用すること。 保護服(長袖作業服等)、帽子、長靴(安全靴等)
9. 物理的及び化学的性質 物理状態 色 臭い 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 燃焼性 爆発下限及び爆発上限/可燃限界 引火点 自然発火温度 分解温度 pH 溶解度 n-オクタノール/水分分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度 粒子特性	液体 無色～微褐色 特有の香氣がある。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 47.5℃(タグ密閉式) 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 水に不溶、アルコールに可溶 該当情報なし。 該当情報なし。 該当情報なし。 0.904～0.926(20℃/20℃) 該当情報なし。 該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	

安定性	通常の取り扱いに於て安定。(自己重合しない)
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	日光、熱、高温多湿
混触危険物質	該当情報なし。
危険有害な分解生成物	該当情報なし。

11. 有害性情報	
急性毒性	経口：LD50 (ラット): 2,480mg/kg 経皮：LD50 (ウサギ): 2,480mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	皮膚刺激性あり(区分2)
眼に対する重篤な損傷・刺激性	該当情報なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	皮膚感作性あり(区分1)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。
発がん性	該当情報なし。
生殖毒性	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-単回ばく露	該当情報なし。
特定標的臓器・全身毒性-反復ばく露	該当情報なし。
誤えん有害性	誤えん有害性あり。(区分1)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期(急性)： 該当情報なし。 長期(慢性)： 該当情報なし。
残留性・分解性	該当情報なし。
生態蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。
14. 輸送上の注意	
国連番号	1993
品名(国連輸送名)	引火性液体 n.o.s
国連分類	クラス3
容器等級	該当しない。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	128
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物取締法	毒物及び劇物に該当しない。
労働安全衛生法	危険物(引火性のもの)
消防法	第4類第2石油類 非水溶性 危険等級Ⅲ
16. その他の情報	
引用文献	化学大辞典(共立出版)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。